



参考資料

VMware vShield™：物理システムよりも高いセキュリティを エンタープライズ クラウドに

仮想環境およびクラウド環境での複雑さの軽減と、
セキュリティ向上を 5 分の 1 のコストで実現する VMware 仮想セキュリティ サービス

概要

VMware vShield™ 製品ファミリーは、最近の動的なインフラに存在するデータとアプリケーションのセキュリティを確保するための新しいアプローチを提供します。これにより、組織は従来の物理環境よりも高いセキュリティ レベルを仮想環境およびクラウド環境で実現できます。

セキュリティとコンプライアンスは、企業がクラウド コンピューティングに対して抱く懸念事項の上位を占め、IT に対するこの新しいアプローチの普及を阻む大きな障壁となっています。現在のセキュリティのアプローチは、インフラの物理的な要素に縛り付けられており、エージェントと専用のハードウェアが必要で、脆弱な構成を使用しなければなりません。クラウド環境の持つ動的な性質（アプリケーションとサービスの可搬性および共有インフラの利用）を活かすには、新しいアプローチが必要です。

仮想化は、クラウド コンピューティング アーキテクチャの基盤であり、コンピューティング、ストレージ、およびネットワークの各リソースをプールして、複数のアプリケーションおよびサービスで活用することを可能にします。新しい VMware vShield 製品は、まず、ファイアウォール、VPN、ロード バランシングを含むネットワーク セキュリティ サービスを仮想化し、コストとセキュリティの複雑さを低減します。次に、アプリケーションと共に、物理インフラの境界を越えて移動する適用性の高いセキュリティを採用しています。結果として、VMware によって仮想化されたクラウド環境は、最小限の投資で、従来の物理インフラへの展開モデルより安全性が高まります。

VMware vShield のお客様は、さらに高いセキュリティレベルを維持しながら、当社の [vCloud サービス プロバイダ パートナ](#)を通じて、自社のインフラと外部インフラを繋ぐハイブリッド クラウド コンピューティング モデルを導入することが可能です。また、VMware vShield は、オープン アプローチを採用しており、Cisco、McAfee、RSA、Symantec、Trend Micro といった VMware のパートナーから提供される最先端のセキュリティ製品と連携して動作するよう設計されています。

VMware vShield 機能およびメリット

VMware vShield 製品ファミリーは、単一のフレームワークを提供し、クラウド環境を保護します。本製品は、お客様がエッジからアプリケーション、および端末までのセキュリティのインフラを統合・簡素化し、ソフトウェア エージェント、セキュリティ ポリシ、セキュリティ アプライアンス、および「エアギャップ」のソリューションに付随する無駄なサーバ台数の増加を抑制できるようサポートします。

- **VMware vShield Edge による仮想データ センタ のセキュリティ**
仮想およびクラウド環境では、もはや「エッジ」をデータ センタの物理的な境界と定義することはできません。お客様は、vShield Edge を使用することで、仮想データ センタ環境の周囲に、ハードウェアに依存しない安全性に優れた論理的な境界（エッジ）を容易に作成することができ、マルチテナントの IT インフラを構築することができます。vShield Edge は仮想アプライアンスとして導入され、ファイアウォール、VPN、Web ロード バランサ、NAT および DHCP サービスを提供します。これにより、お客様はエッジ セキュリティ サービスを展開することができるようになり、複数の専用のアプライアンスを使用する必要がなくなります。企業やサービス プロバイダは、VMware vShield Edge を使用し、セキュリティに優れたマルチテナント クラウド サービスを提供できます。VMware vShield Edge は、お客様によるテナント間のトラフィックの分離、テナントのアプリケーションおよびデータの保護、コンプライアンスの確保を可能にします。
- **仮想環境およびクラウド環境のためのアプリケーション保護**
vShield App は、ハイパーバイザを基盤とするアプリケーションに対応したファイアウォール ソリ

ューションです。お客様は、vShield App を各 vSphere™ ホストにインストールして、物理的な境界ではなく、ポリシーに基づく論理的な動的アプリケーション境界（セキュリティ グループ）を作成して、適用することができます。VMware vShield App は、従来のファイアウォールとは異なり、仮想マシン間のネットワーク通信を監視してセキュリティ グループ ポリシを動的に適用します。そのため、vShield App はさまざまなセキュリティ グループを分離するための専用ハードウェアや VLAN を必要とせず、お客様が物理システムよりも優れたアプリケーション セキュリティ実現できる、費用対効果の高いソリューションとなっています。

- **仮想環境向けに最適化された端末のセキュリティ対策**

お客様は、VMware vShield Endpoint を VMware のパートナー ソリューションと併用することにより、アンチウイルスやその他のホストおよび端末のセキュリティを VMware の仮想およびクラウド環境で使用するために最適化することで、ウイルス、スパイウェア、ウームなどの悪意の攻撃や不正侵入などから仮想マシンとそのホストを保護することができます。VMware vShield Endpoint は、VMware のセキュリティ パートナから提供される改ざんに強い堅牢な仮想マシンにアンチウイルスやアンチマルウェアの機能を委任するため、管理される仮想マシンに対するアンチウイルス エージェント用のインストールが不要になります。VMware は、McAfee、Symantec、Trend Micro などの業界をリードするセキュリティ ベンダと協力しながら、VMware vShield を基盤にした完全な端末保護ソリューションを統合および提供しています。

- **仮想データ センタ向けの基本的な保護**

VMware vSphere に組み込まれている vShield Zone は、管理者が定義したゾーンに基づいてアプリケーションをファイアウォールで保護し、仮想データ センタにおけるネットワーク ベースの脅威を回避する基本的な保護を提供します。

すべての vShield 製品には、セキュリティ管理の「指令センタ」である vShield Manager コンソールが付属しています。このコンソールは、VMware vCenter™ Server とシームレスに連携し、仮想およびクラウド環境におけるセキュリティの統一元管理を簡素化します。vShield Manager は、役割ごとにアクセスを制御できるとともに、セキュリティ フレームワークのあらゆる側面の視認性を高めます。そのため、複数ある IT チーム（VI 管理者、ネットワーク、およびセキュリティ）は、容易に作業や役割を調整できるようになります。また、vShield Manager は、ログ出力、監査、レポート作成、およびサードパーティ製品との連携を担当する統合管理ポイントとしての役割も果たします。

- **購入について**

vShield 製品ファミリーのご購入については弊社国内パートナーにお問い合わせください
<http://www.vmware.com/jp/partners>

- **価格**

VMware vShield 製品ファミリーは、仮想マシン単位のライセンス販売が適用され、仮想マシン一台当たり市場予想価格 6,000 円より入手可能です。

###

【お問い合わせ】

ヴェイムウェア株式会社
マーケティング コミュニケーションズ 武田
Japan.PR@vmware.com

株式会社ジェイスピン
担当 清水、成田
vmware@jspin.co.jp
03-5269-1038